

移動するモダニズム

毎年ひとつのテーマをたて、一流の講師をお招きする連続講演会。

2023年度は葉山館を会場に、全3回で開催します。

開館20周年を迎えた葉山館で開催中の「100年前の未来 移動するモダニズム 1920-1930」に関連し、美術界を取り巻く動向や社会状況を多様な視点から再考します。

第1回 2023年11月4日（土曜）

「関東大震災の想像力」 * 英日逐次通訳

講師：ジェニファー・ワイゼンフェルド氏

(Gennifer Weisenfeld / デューク大学教授)



米デューク大学美術・美術史・視覚研究学部ウォルター・H・アネンバーグ特別教授。専門は近現代の日本美術史、デザイン、視覚文化。邦訳書『関東大震災の想像力：災害と復興の視覚文化論』（青土社、2014年；原著2012）ほか、著書にMavo: Japanese Artists and the Avant-Garde, 1905-1931（2002）、Gas Mask Nation: Visualizing Civil Air Defense in Wartime Japan（2023）など。

第2回 2023年12月10日（日曜）

「中国をめざすモダニストたち：
近代中国における日本人美術家について」

講師：呉孟晋氏（くれ・もとゆき / 京都大学准教授）



1976年、神戸市生まれ。東京大学大学院総合文化研究科博士課程単位取得退学。博士（学術）。新聞社勤務を経て、2009年から京都国立博物館にて中国絵画の学芸業務に従事。2021年より京都大学人文科学研究所准教授。専門は近現代を含む中国絵画史。主な共編著に『京都国立博物館須磨コレクション図版目録 齊白石』（2019年）など。担当した主な展覧会には、「中国近代絵画と日本」展（2012年）、「国宝」展（2017年）などがある。

第3回 2024年1月20日（土曜）

「久米民十郎 移動・モダニズム・戦争」（仮題）

講師：五十殿利治氏（おむか・としはる / 筑波大学名誉教授）



1951年東京生まれ。1975年早稲田大学第一文学部卒業。1985年筑波大学芸術学系講師。専門は近代美術史。1995年『大正期新興美術運動の研究』により毎日出版文化賞奨励賞。2017年筑波大学を定年退職、同特命教授・名誉教授。同年『非常時のモダニズム』により芸術選奨文部科学大臣賞。2018年-22年国立美術館理事。2022年『久米民十郎モダニズムの岐路に立つ「霊媒派」』を刊行。

[開催概要]

時間：午後2時-4時

定員：各回先着60名

会場：神奈川県立近代美術館 葉山 / 講堂

参加：無料（展覧会観覧の際は別途観覧券が必要です）

※開催当日午後1時より講堂前で整理券を配布します

最新情報は美術館ウェブサイトでご確認ください。



The Museum of
Modern Art,
Kamakura &
Hayama

神奈川県立近代美術館